

病院名:奈良セントラル病院 医療圏:奈良

※R7年度、R8年度(2026年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

			(a) 〈H28年度〉 許可病床数	〈R7年度〉 許可病床数	うち、最大使用 病床数 (注1)
一般 病床・療養 病床	高度急性期				
	急性期	重症			
		軽症			
	回復期		49床	45床	45床
	慢性期		62床	66床	66床
	休棟中 (今後再開する予定)				
	休棟中 (今後廃止する予定)				
	(合計)(自動計算)		111床	111床	111床
精神病床					
結核病床					
感染症病床					
介護医療院					



(b) 将来 (R8/2026年度) 病床数	(b-a) H28年度からの 増減 (自動計算)
	0床
	0床
	0床
45床	-4床
66床	4床
	0床
	0床
111床	0床
	0床
	0床
	0床
	0床

・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

# 令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

## 1. 基本情報

病院名：奈良セントラル病院

医療圏：奈良

## 2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

（１）これまでの地域医療構想や昨今の受領動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

当院は慢性期医療を支える地域包括医療拠点として、各急性期病院からの慢性期患者受入を促進し、同一建物内で設置している介護事業所を含め認知症患者対応力の強化と連携を深め、建物外への在宅医療・介護のフォロー体制に強化する体制づくりに努めていく方針です。

## （２）今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

在宅療養支援病院として、各地域の診療所・施設からの患者受入について積極的に受入強化・連携をより深めていきたいと考えております。特に認知症疾患をお持ちの患者様への受入対応力向上については当院の重要指針として準備を進めて参ります。

## （３）今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

現状、当院から外部への訪問診療体制は縮小傾向であるが、訪問診療医の獲得は前向きに進めております。取り急ぎ、R8年度は訪問看護事業を再開し、地域の在宅医療に貢献していく考えであります。

## （４）今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

- ・当院において、身体拘束最小化の観点より、補助金を活用し見守りカメラ・センサーの導入
- ・当院において、患者の褥瘡発生率低下の観点より、療養病棟全床に全自動体位変換マットレスの導入
- ・電子処方箋の導入・設置による、地域とのシームレスな情報共有網の構築
- ・主婦層を始め、時短勤務者の労働環境の整備（主として間接業務中心の固定業マニュアルの作成）
- ・残業時間管理含めた全従業員が関与する書面での作成物をICT導入によるペーパーレス化を図るため、バックオフィス（勤怠労務管理システム）の更新を予定しています。
- ・休日取得方法の見直しを検討しております（年間で発生する特別休暇の柔軟な取得方法）

### 3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。  
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

#### [1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[1-2]手術の実施

—

[1-3]化学療法の実施

—

[1-4]放射線治療の実施

—

[1-5]拠点病院等の指定

指定されていない

[1-6]特記事項

—

## [2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

—

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

—

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

—

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

—

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

—

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

—

[2-8]大動脈瘤手術の実施

—

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

—

[2-10]特記事項

—

### [3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

—

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

—

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

—

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

—

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

—

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

—

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

—

[3-9]特記事項

—

#### [4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

—

[4-3]大腿骨骨折への対応

—

[4-4]病院群輪番制への参加

—

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

—

[4-6]特記事項

—

## [5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

有り

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

45

[5-4]訪問リハビリの実施

実施している

[5-5]通所リハビリの実施

実施している

[5-6]今後の方向性

奈良セントラル病院：回復期リハビリテーション病棟入院基本料2を算定

通所リハビリテーション：定員50名。3～4時間以上での受入対応



## [6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

対応している

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

有り

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]特記事項

—

## [7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

対応していない

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ない

[7-3]上記でありの場合、その名称

[7-4]特記事項

R8年度は病院みなし指定による事業を再開し、のちに指定を受け、地域への在宅医療支援に努めていく予定です。

## [8]ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について  
定めている

[8-2]特記事項

—

## [9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[9-2]小児入院医療管理料の算定

—

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

—

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

—

[9-5]特記事項

—

## [10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[10-2]分娩の取扱い

—

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

—

[10-4]特記事項

—

## [11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

—

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

—

[11-4]EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加

—

[11-5]特記事項

—

## [12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

—

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

—

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

—

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

—

[13-7]特記事項

—

## [14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

—

## [15]看護職員の研修機能

[15-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ない

[15-3]特記事項

—